

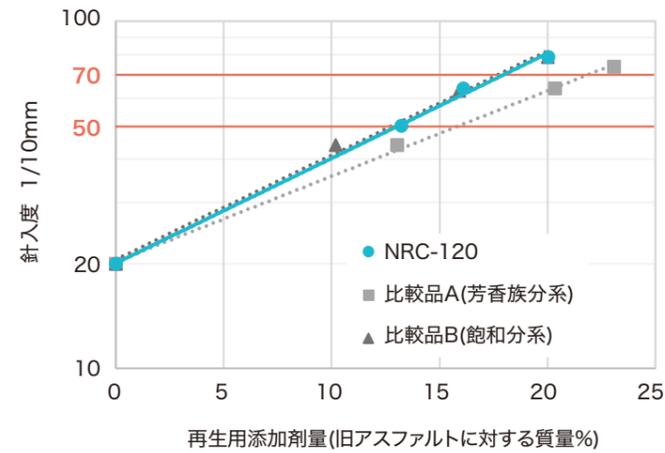
添加量と旧アスファルト性状の針入度回復効果

下記は、劣化したアスファルトに対する再生用添加剤の必要添加量を表しています。

NRC-120は、他の芳香族分系の再生用添加剤と比べ、少ない添加量で劣化したアスファルトの針入度を回復することができます。

また、芳香族分を多く含みながらも、飽和分系の再生用添加剤と比べて添加量が大きく変わりません。

項目	目標針入度 (1/10mm)	
	50	70
NRC-120	13.1%	17.9%
比較品A (芳香族分系)	15.9%	21.9%
比較品B (飽和分系)	12.8%	17.7%



(注) 上記は、添加量の一例です。旧アスファルトの針入度により再生用添加剤の添加量は異なります。

NRC-120

芳香族系 再生用添加剤

納入荷姿

ローリー車



上記にない数量でのお届け等につきましては、弊社最寄りの営業所にお問い合わせください。

取扱注意事項

- 製品の技術的な詳細に関しましては、技術資料をご参照ください。
- 安全にかかわる詳細な情報は、SDS「安全データシート」をご参照ください。



NRC-120とは

芳香族分を多く配合し、再生合材の品質を高める再生用添加剤です。

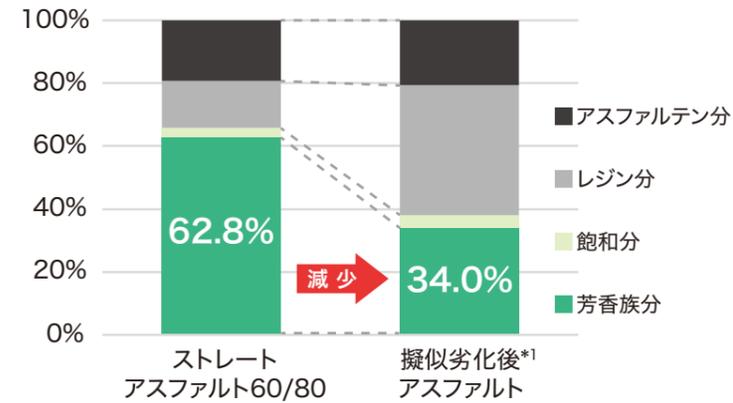


再生用添加剤の必要性

長期供用により劣化したアスファルトは、化学組成の変化により特に芳香族分が大きく失われてしまいます。

また、劣化・再生が繰り返されることで組成は大きく変化し、バインダ・混合物性状の劣化も進行していきます。

そこで、劣化したアスファルトに再生用添加剤を添加し、芳香族分を補うことにより、本来の品質に近づけることができます。



*1 薄膜加熱試験と加圧劣化試験にて長期供用後のアスファルトを再現した組成

主な特長

芳香族分を高配合

芳香族分を多く含む再生用添加剤であり、旧アスファルトをストレートアスファルトに近い組成へ再生します。

高い針入度回復力

旧アスファルトの針入度回復性能に優れており、飽和分の多い再生用添加剤と大きく変わらない添加量で旧アスファルトを所定の針入度に回復します。

安全に配慮した成分

PCA（多環芳香族成分）が3%未満であり、アメリカやEUの発がん性基準をクリアしています。引火点は300℃程度であり危険物にも該当しません。

代表性状

項目	単位	代表性状	再生用添加剤の標準的性状*2
動粘度 (60℃)	mm ² /s	168	80 ~ 1,000
引火点	℃	304	250 以上
薄膜加熱後の粘度比 (60℃)	—	1.1	2 以下
薄膜加熱質量変化率	%	-0.24	±3 以内
密度 (15℃)	g/cm ³	0.95 程度	報告
組成*3	飽和分	%	21.4
	芳香族分	%	73.9
	レジン分	%	4.3
	アスファルテン分	%	0.4

*2 舗装再生便覧 (令和6年度版) 再生用添加剤の標準的性状

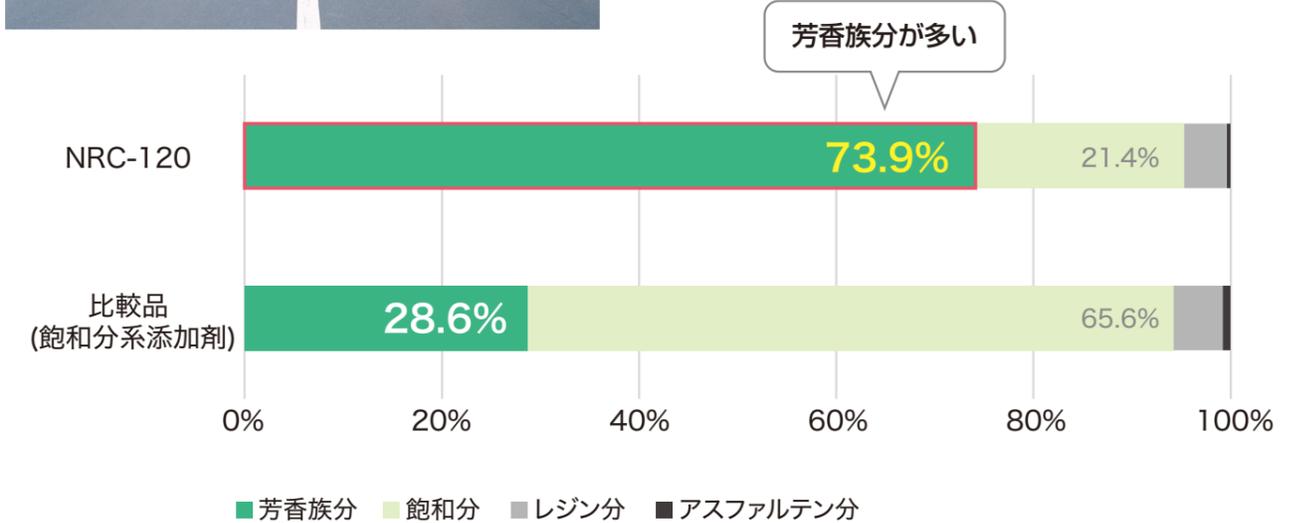
*3 石油学会法 JPI-5S-77-2019 に準拠

再生合材の品質を高める「芳香族分」を多く配合

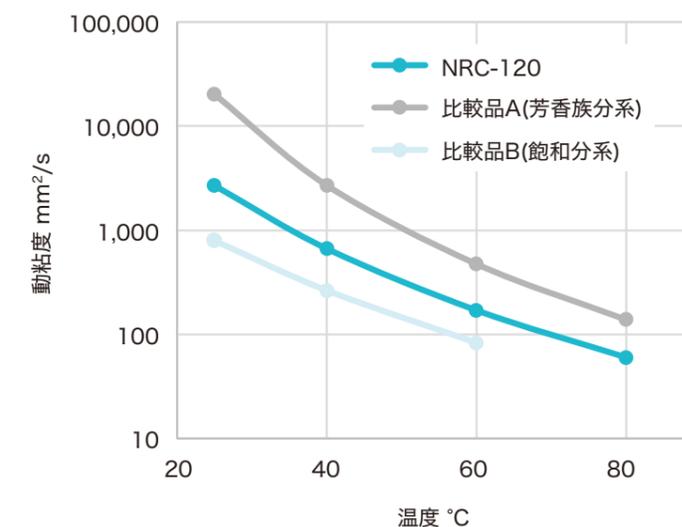


「芳香族分」を多く含む再生用添加剤は、「飽和分」を多く含むものと比較し、繰り返し再生した際の再生アスファルトおよび再生合材の品質が高いことが明らかとなっています。

NRC-120は芳香族分を多く含む組成となっており、劣化したアスファルトを再生するだけでなく、**再生合材としての品質を向上**させます。



芳香族分高配合でありながら低粘度



●一般的に、芳香族分が多く含まれる再生用添加剤は動粘度が高くなる傾向にあります。

●NRC-120は**他の芳香族分系の再生用添加剤と比較して低粘度**です。そのため、溶けた旧アスファルトとの混ざりが良く、均一な合材品質を確保できます。

●また、低粘度であることからタンク貯蔵時の加温に必要なエネルギーを少なく保つことが可能です。